

# 肢体不自由教育部門 中学部 自立活動 学習指導案

日 時 令和5年10月26日(木) 第1校時 9:30~10:20

1 題材名 「視線入力装置を使って朝の会の日直をしよう」

2 題材設定の理由

(2) 題材の指導目標及び指導内容

生徒	題材の指導目標	指導内容・方法・手立て	
A	視線入力装置の使い方や操作方法を学習し、身近な人に気持ちを伝えたり、支援を依頼したりできるようにする。	5 (2)	①視線入力装置を使うときの姿勢づくりと視線入力装置の操作を確認する。
		4 (2)	②パワーポイントに投影されたイラストとイラストが意味している内容の整合。
		6 (4)	③視線入力装置を正しく操作し、イラストを選択する。
		6 (5)	④一人で視線入力装置を活用したコミュニケーションの学習

(4) 学校課題研究との関わり

本校の研究主題「12年間を見据えた系統的・継続的な指導の充実」、副題「個別最適な学びにおけるICTの具体的活用」との関わりから、本生徒は、視線で追視や注視が可能であり、コミュニケーション方法の幅を広げるために視線入力装置を活用する。また、活用場面を毎日行っている朝の会に設定することで、学校生活の中で自分の気持ちや意見を表出しやすいと考えた。また、友達と一緒に活動することで表出する意欲を高め、積極的に活動できるようにする。学校課題研究で協議した学習指導案の作成方法や授業の展開・評価の方法を参考に、本時に関する実態把握や目標設定を行う。

3 題材の指導計画

時間/目標	主な学習活動		
	身体の動き	姿勢作り	コミュニケーション
通年/目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体各部位に触れたり、手足を意図的に動かしたりして、得意な運動を行う。</li> <li>・側弯症の進行や拘縮の予防のためにストレッチでリラクゼーションを図る。</li> <li>・SRCウォーカーに乗</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・座位保持椅子では、リクライニングの角度を調整し、頭部が落ちないようにネッククッションを着ける。</li> <li>・筋緊張が強くなることを防ぐため、座位の時間を1時間程度にすることで、集中できるようにする。</li> <li>・バードクッションで腹臥位</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しが持てるように説明を適宜行い、慣れ親しんだ教師と活動することで心理的な安定を図る。</li> <li>・発声や身振り、ICT機器の活用で友達や教師とコミュニケーションをとる。</li> <li>・ICT機器を活用して朝の</li> </ul>

	り、10～50mほど歩行 訓練をする。	をとることで筋緊張を緩め る。	会や教科等の学習に主体的 に参加する。
--	------------------------	--------------------	------------------------

#### 4 本時の学習

##### (1) 本時の指導計画

生徒名	本時の指導目標・評価の観点	指導内容・方法・手立て
A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の支援を受けて、四肢の弛緩をしたり、側弯部を伸ばしたりして身体をほぐすことができる。</li> <li>・支援を受けて朝の会に参加するための姿勢づくりができる。</li> <li>・視線入力装置を注視、追視をしながら朝の会の進行をすることができる。</li> </ul>	<p>5 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・股関節周辺の回旋、足首の内転している部分を伸ばすことで下肢の拘縮を予防する。</li> <li>・側弯の進行予防の観点から側弯側を伸ばすとともに反対側を押して圧をかける。</li> <li>・両腕や肩甲骨周りを声掛けしながら、緩める。</li> </ul> <p>5 (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋緊張を緩めながら朝の会に参加するためにネッククッションを装着したり、声掛けをしたりする。</li> </ul> <p>4 (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋緊張が強くなりすぎないように声掛けや支援を受けながら、朝の会に取り組む。</li> </ul> <p>4 (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視線入力装置を操作する。</li> </ul> <p>6 (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面を注視することで朝の会の場面に応じた操作をする。</li> <li>・複数の選択肢から自分の意志と沿うものを選択する。</li> <li>・教員に指示されたものを選択する。</li> </ul>

##### (2) 展開

時間	主な学習活動	○個別の支援 (手立て) ◇評価の観点	備考
導入 5分	1 あいさつ 2 本時の内容と目標を知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の号令に合わせて、始まりのあいさつをする。</li> <li>・本時の活動 (流れ) を確認する。</li> </ul>	
展開 40分	3 身体ほぐし	<p><b>身体ほぐし</b> (15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○エアレックスマットに降りる。</li> <li>○股関節の可動域の範囲や右足首の内転に留意しながら股関節から指先にかけて伸縮するように支援する。</li> <li>○骨盤を軽く揺らし、股関節を緩める。</li> <li>○左側臥位を促し、側弯部を伸ばす。</li> </ul>	

	<p>4 朝の会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視線入力装置を使って朝の会を進行する。</li> </ul>	<p>○両腕の肩甲骨周りを掴み、可動域に留意しながら回旋する。</p> <p>○バードクッションに乗り、腹臥位姿勢をとる。その際に背中や臀部を緩める。</p> <p>○筋緊張が強い場合は、身体ほぐしの時間を長めにとる。</p> <p>◇教員の支援を受け入れ、身体を緩めたり、側弯部を伸ばしたりすることができたか。</p> <p><b>姿勢づくり・視線入力装置設定</b>（5分）</p> <p>○座位保持車いすに乗り、ネッククッション等で頭の位置を調整する。</p> <p>○視線入力装置が見やすい位置へ固定する。</p> <p>○教員の指示で目を動かし体操をする。</p> <p>◇教員の支援を受け、朝の会の進行するための姿勢づくりができる。</p> <p><b>朝の会次第</b>（20分）</p> <p>①始めのあいさつ 「これから朝の会を始めます。姿勢を正して、礼」</p> <p>②出欠の確認 「出欠の確認です。」 友達の写真を見て、呼名の順番を選択。 「せーの〇〇さん」 「せーの〇〇さん」 「はい、元気です」（呼名への応答）</p> <p>③日付と天気の確認 日付は教員と一緒に確認する。 天気は「晴れ」「曇り」「雨」のイラストから選択。</p> <p>④今日の予定の確認 「今日の予定の確認です」 教員が予定を伝える。</p> <p>⑤給食の確認 教員の顔写真から順番を選択。 「〇〇先生、お願いします。」</p>	<p>※眼の体操 （内容）</p> <p>・ PC ・ PC スタンド ・ tobii（視線入力装置）</p>
--	---	---	---

		<p>⑥連絡 「今日の連絡です。」 教員が予定を伝える。</p> <p>⑦終わりのあいさつ 「これで朝の会を終わりにします。姿勢を正して、礼」</p> <p>○視線入力でパワーポイントを操作して、朝の会の次第に沿って進行する。</p> <p>○誤操作や不具合があった場合は、教員が支援をする。</p> <p>○適切に注視・追視できたり、朝の会の進行行えたりできている場合は、評価する。</p> <p>○筋緊張が強くなった場合は、落ち着いてから日直の進行ができるように声掛けする。</p> <p>◇視線入力装置を注視、追視をしながら朝の会の進行をすることができたか。</p>	
ま と め 5 分	5 本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>視線入力装置を操作できたこと、発声で伝えられた内容などを振り返る。</li> </ul>	